



八鹿青溪

貫徹 慎独 創造

令和4年5月26日発行
第5号

養父市立八鹿青溪中学校
兵庫県養父市八鹿町九鹿201-4

学校教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

躍進!八鹿青溪中

第9回自治労カップ全日本少年軟式野球大会 兵庫県予選会

野球部準優勝

躍進!八鹿青溪中。野球部が県大会準優勝という嬉しいニュースがまた一つ増えました。本校では未だにコロナ感染症の制約はありますが、学校教育の柱の一つである部活動の取組も滞ることなく進めることができています。放課後になると、学校中で練習に汗を流す子どもたちの元気な声がこだましています。体育館では男女バスケット部とバレーボール部が切磋琢磨して練習に励んでいます。校舎内では男女卓球部と吹奏楽部が学年やパートごとにいろんな場所に別れ、個人練習や合同練習に励んでいます。グラウンドでは野球部とソフトボール部が、テニスコートでは男女テニス部が練習場所全面に拡がり、必死にボールを追っています。本校の部活動は活気にあふれています。

- [1回戦] ○3-0 松崎中クラブ (伊丹)
 - [2回戦] ○(抽選勝ち)2-2 揖保川中 (たつの)
 - [3回戦] ○8-0 猪名川中 (宝塚)
 - [準決勝] ○5-1 中部中 (加古川)
 - [決勝] ●1-3 大久保北中 (明石)
- ※ () 内は出場チームの支部 (地区)



表彰式(姫路ウイング球場)

そのような中で先日、野球部の県大会(第9回自治労カップ全日本少年軟式野球大会兵庫県予選会)が開催され、見事に準優勝という結果を残すことができました。どの対戦チームも冬場の練習をしっかりとしてきたことが感じられ、昨秋に全国大会出場を争ったチームが早々と敗れていく中ではありましたが、準優勝という結果を残すことができました。この野球部の活躍は野球部の頑張りはもちろんのことですが、本校全部活動の練習に向かう真摯な姿勢や日々の練習の賜だと考えています。上にも書きましたが、本校では各部それぞれが、そして各部の子どもたちが切磋琢磨し、限られた時間や練習場所で目標をしっかりと持ち活動することができています。

部活動は体力や技能の向上を図る目的以外にも、異学年との交流の中で、生徒同士や生徒と教師等との好ましい人間関係の構築を図ったり、その中で自己肯定感、責任感、連帯感を高めたり、子どもたちの多様な学びの場、そして活躍の場としての意義を果たすものです。以上のような部活動の意義が、本校では保護者、ご家族の皆さん、地域の方々の温かいご支援によって、円滑に果たされており、子どもたちがこのように力を発揮できるのだと考えております。

今後は、部活動の集大成である総合体育大会や吹奏楽コンクールに向かっての活動となります。これからも本校の子どもたちのさらなる躍進のため、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

地域に学ぶ トライやる・ウィーク よろしくおねがいます

期間は5月30日(月)~6月3日(金)

- ☆トライする … やってみる・新たなことに挑戦する
- ☆トライアングル … 「学校」・「家庭」・「地域」が連携して生徒を育てる

いよいよ来週から「トライやる・ウィーク」です。「トライやる・ウィーク」は、平成7年の阪神・淡路大震災、平成9年の神戸連続児童殺傷事件を機に「心の教育」の充実を図ることの必要性が再認識され、平成10年より始まりました。甚大な被害は、自他の生命や人権を尊重する心、ボランティア精神、共に生きる心。大変痛ましい事件は、人間としての在り方・生き方を改めて考えさせるとともに、社会生活上のルールや倫理観の育成、善悪の判断、自律・自制の心の涵養などを図ることの大切さを再認識することとなりました。「心の教育」は、活動や体験を通して、子どもたち一人一人が自分なりの生き方を見つけられるよう支援していく教育にしていくことの重要性が指摘され、それとともに、具体的な取組の一つとして導入が提唱されたのが「トライやる・ウィーク」です。

この活動では中学生が職場体験、福祉体験、勤労生産活動など、地域での様々な体験活動を通じて、働くことの意義、楽しさを実感したり、社会の一員としての自覚を高めるなど、生徒一人一人が自分の生き方を見つけられるよう支援していただきます。また、「トライやる・ウィーク」への取組を通じて学校・家庭・地域社会の連携を深め、社会全体で子どもたちの人間形成や社会的自立の支援を行うことで、子どもたちを中心とした地域コミュニティづくりへと発展することが期待されています。今年もまた学年PTAの方の力もお借りして、多くの事業所からご協力をいただくことができました。期間中は市内のあちらこちらで中学2年生が奮闘している姿が見られると思います。見かけられたら、ぜひ励ましの声をかけてやってください。よろしくお願いいたします。

【今年度お世話になる事業所】 (順不同)

(株)オーシスマップ	社会福祉法人 たいようこども園	但馬オート株式会社
養父市立伊佐こども園	養父市役所	養父市立高柳小学校
養父市立伊佐小学校	未生流中山文甫会(いけ花)	一般社団法人 田舎暮らし倶楽部
カフェレストラン ベリッタ	養父市立小佐保育所	道の駅 ようか但馬蔵
養父市立宿南こども園	南但馬警察署 養父警察センター	県立但馬農業高等学校
養父市立宿南小学校	日光認定こども園	とがやま温泉 天女の湯
宿南地区自治協議会	ゴダイドラッグ 八鹿店	国土交通省 八鹿国道維持出張所
ベーカリー&パリ食堂マルシェ	八鹿鉄工(株)	デイサービスセンター妙見荘
(株)谷常製菓	養父市学校給食センター	認定こども園 童和こども園
養父市立八鹿小学校	小規模多機能居宅介護 はちぶせの里 ようか	つるぎが丘公園 ようか温水プール&健康支援施設
有限会社 五光	地域活動支援センター オンサルデ	放課後等デイサービス かのん

本年度はご協力を承諾していただいた中から、市内33の事業所で体験活動をさせていただきます。地域のみなさまのご理解とご協力に対し、心より感謝申し上げます。

生徒会で「ひまわりの絆プロジェクト」に取り組みます

昨年度の「トライやる・ウィーク」で南但馬警察署に行った生徒が、このプロジェクトのことを知りました。本校生徒会ではそのことをきっかけにして「命の大切さ」を生徒に呼びかけようという発案からこの取組を始めることにしました。以下、本プロジェクトの趣旨です。



平成23年、京都府内で発生した交通事故で4歳の男の子が亡くなりました。生前、男の子は幼稚園で育てていたひまわりの種を自宅に持ち帰っていました。ご両親は、男の子が生きていた証としてそのひまわりを大切に育てていました。平成25年春、この交通事故を担当していた警察官が自宅を訪問したとき、ご両親から「私たちの子供が生きた証を残したい。このひまわりがあちらこちらで咲けば、この子もいろんなところへ行けると思う。もう交通事故は嫌です。」とそのひまわりの種を託されたのです。こうして、男の子が生きていた証を残したいと願うご両親の思いと交通事故根絶の強い思い願いが「ひまわりの種」となって引き継がれ、平成27年夏には京都府内の警察署、保育園、幼稚園、小中高校、指定自動車教習所、各地域等で「ひまわりの絆プロジェクト」として花を咲かせ、平成28年以降は京都府内だけでなく全国各地で花を咲かせました。毎年、多くの方々により、ひまわりを育てることを通じて、命の大切さを学び、被害者支援への理解を深める取り組みが行われています。